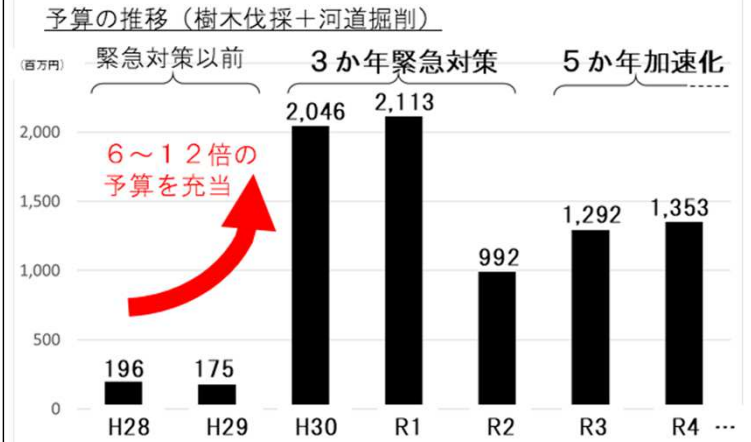
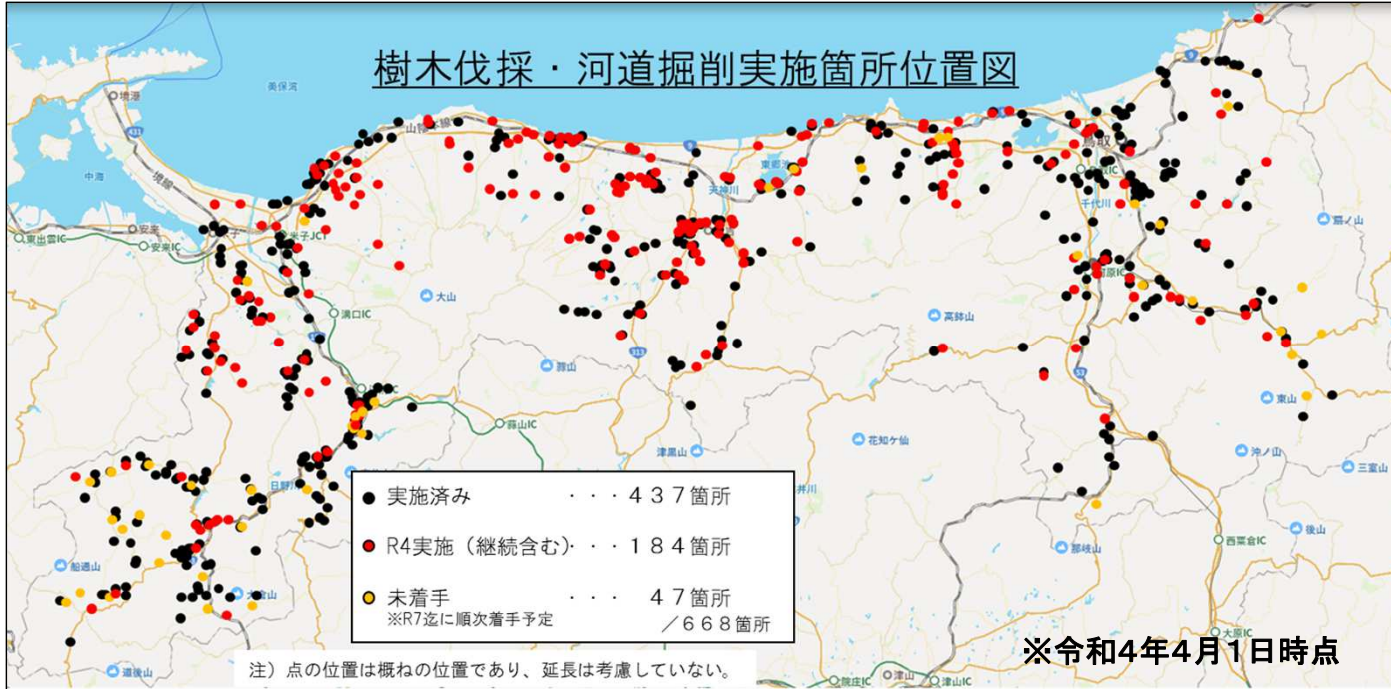


・鳥取県では国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の予算を活用し、洪水による氾濫被害の防止・軽減のため、樹木伐採、河道掘削を重点的に実施しています。

・平成30年度から従前の予算規模に対し6~12倍程度の集中投資を行い、流下能力を高めることで、治水安全度の向上を図っています！

樹木伐採・河道掘削実施箇所位置図

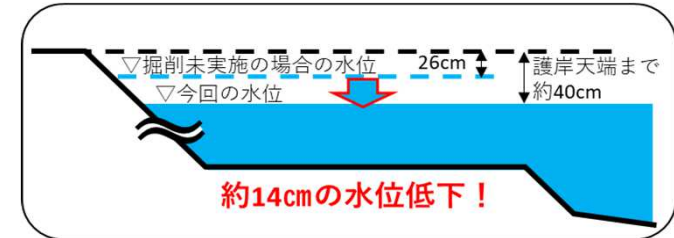


要対策箇所については、5か年加速化対策の事業期間（R7迄）に全ての対策を完了することを目標に、順次工事を実施中。
 なお、事業実施箇所については適宜点検のうえ、見直しを行っている。

樹木伐採・河道掘削の効果の事例(三徳川:三朝町)



・3か年緊急対策により河道掘削を実施。
 ・令和3年7月の洪水では、水位を約14cm低下させ、地域の安全を確保！



令和3年7月8日、氾濫に迫る洪水が発生したが、事前に行われた河道掘削の効果により、河川水位の上昇を抑えることができたと考えられます。

大路川は鳥取市の住宅密集地を流下しており、昭和54年台風20号による大路川の水位上昇の他、近年の平成30年7月や令和3年7月豪雨により、支川の清水川及び山白川等の排水ができなくなり、沿川で甚大な浸水被害が生じました。市街化の著しい大路川沿川の治水安全度の早期向上のため、鳥取県では排水機場の整備を集中的に進めており、この度当面の目標としてきた千代川背水影響対策区間の整備が完了しました。これにより昭和54年台風20号と同程度の豪雨(約50年確率)に対し、床上浸水家屋の解消が図られます。



大路川(鳥取市)



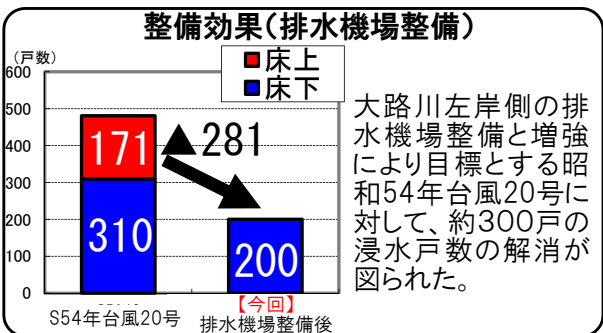
昭和54年台風20号の状況 (鳥取市吉成地区)

令和3年7月豪雨の状況 (鳥取市吉成南地区)

清水川

【大路川河川整備等の変遷】

- 令和 3年5月 大路川流域治水協議会の設立(流域を流域治水のモデル地区)
 - 令和 4年1月 **【県】** 清水川排水機場増設完了(4.0m³/s → 4.6m³/s)
3月 **【市】** 的場ポンプ場増設完了 (1.8m³/s → 3.7m³/s)
 - 令和 5年3月 **【県】** 西大路排水機場増設完了(2.7m³/s → 4.7m³/s)
3月 **【市】** 吉成ポンプ場増設完了 (3.0m³/s → 6.1m³/s)
- ↑====整備計画に基づく千代川バックウォーター影響対策区間の整備完了====↑
- 3月 **【県】** 流域内に浸水表示板の設置が完了
 - 3月~ **【県】** 樋門の電動化着手(大路川15基、砂田川9基、清水川13基)
 - 6月以降 **【県】** 清水川へ新たな排水ポンプ車(0.5m³/s)を配備
 - 令和 5年度 流水管理DXの検討、流域治水ビジョン及びロードマップ策定



番号	左右岸	施設名	管理者	運転開始年月	ポンプ番号	ポンプ能力(m ³ /s)			備考
						現況能力(R5.4時点)	今後の増設予定	将来計画	
①	左岸	清水川排水機場	鳥取県	S61.8	NO.1~3	4.60	-	4.60	R3(+0.6m ³ /s)増設済
②	右岸	吉成ポンプ場	鳥取市(公共下水道)	S63.4	NO.1~2	6.06	1.50	7.56	R4(+3.03m ³ /s)増設済
③	左岸	宮長ポンプ場	鳥取市(公共下水道)	H12.6	NO.1~2	4.53	1.67	6.20	
④	左岸	山白川排水機場	鳥取県	H29.6	NO.1~2	4.00	-	4.00	H29新設
⑤	左岸	的場ポンプ場	鳥取市(公共下水道)	H7.4	NO.1~2	3.67	0.72	4.39	R3(+1.83m ³ /s)増設済
⑥	左岸	西大路排水機場	鳥取県	S57.6	NO.1	4.70	-	4.70	R4(+2.0m ³ /s)増設済
⑦	左岸	東大路ポンプ場(No.1)	鳥取市(内水河川)	H21.4	NO.1~2	0.20	-	0.20	
⑧	右岸	洗井川排水機場	鳥取県	H8.3	NO.1~5	5.00	-	5.00	
⑨	左岸	東大路ポンプ場(No.2)	鳥取市(内水河川)	H20.8	NO.1~2	0.20	-	0.20	
⑩	山白川	倉田排水機場	鳥取県	H17	NO.1~3	2.10	-	2.10	R2(+1.6m ³ /s)増設済

